

石野所長！

**「命をかけてやる気があるのか！」
は脅してではないのですか？**

**会社は、大阪労働局の判断(10/1)を真摯に受け止め、
「パワハラ」を謝罪せよ！**

12月11日、石野大阪第二運輸所長は、組合員に対して「命をかけてやる気あるのか！」と暴言を発しました。

体調を崩して約2年間、乗務員を離れていた組合員は突然、大二運への辞令を受けました。これにより12月1日から乗務員の教育を受けていましたが、体調そのものは完全ではなく組合は会社に対して辞令の根拠を明らかにさせると共に抗議を行いました。

運転士、車掌の規程、新型車両の教育など多岐にわたる教育そのもののあり方も問題ではありますが、12月11日、車掌業務のドア扱いのシュミレーター訓練を受けていました。

そこへ突然、石野所長が現れ、訓練を受けている組合員に対して「命をかけてやる気あるのか！」「メリハリがない！」と暴言を発しました。これが教育・訓練と言えるのでしょうか！また、顔を数センチのところまで近づけた言動は威圧するだけでなく、本人を引っ掛けようとした挑発行為でもあります。

さらに、組合員と産業医との面談が行われましたが、石野所長は上司の立場を利用し強引に同席しようとしてしました。本人のプライバシー・人権を無視した行為は断固、許せません。

私たちは、石野所長自らが行った人権侵害を許すわけにはいきません。さらに、会社による本人の体調を無視した突然の異動と、これら一連のパワーハラスメントに対して断固、抗議するものである！